

研究史『進化するブランド』その後

私たちは、

自分たちがいる“この世界”を

どのように、人に伝えればよいのか？

神戸大学名誉教授／流通科学大学名誉教授

石井淳蔵



「うちらしくない」という判断が通用する〈場〉

“世界”

1. そうした〈場〉は、家族にもある、研究室にもある、会社にも地域にも政党にもある
2. 「暗黙に共有された前提」／「判断が生まれる以前に決まっている意味の広がり」
甲子園の世界／無印良品の世界／スタバの世界／ウォークマンの世界／...
私たちがその中に巻き込まれ、生き、応答してしまっている世界

「この世界」を記述するのに
適している言語用法は

中動態！

世界が生じていて、私はそのなかですでに巻き込まれている、
気が付いたらそういう状態にあった！

日本では、
「自分が今いる“世界”」を、**そのまま**
伝えるべく、文芸が発達した

和歌、連歌、俳句、小説、エッセイ、...

古事記、万葉集、源氏物語、枕草子、古今和歌集、方丈記、平家物語、奥の細道

ブランドを基軸に成り立つ
〈世界〉のありようは、
どのように、伝えたらいいのだろうか？

構成されたストーリーの役割